

令和7年度使用中学校教科用図書
調査研究結果報告書

道 徳



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

中 学 校 教 科 書 一 覧

教科書種目	道 徳
-------	-----

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
東京書籍(株)	2	東 書	新編 新しい道徳
教育出版(株)	17	教 出	中学道徳 とびだそう未来へ
光村図書出版(株)	38	光 村	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき
日本文教出版(株)	116	日 文	中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート
(株)Gakken	224	学 研	新版 中学生の道徳 明日への扉
あかつき教育図書(株)	232	あか図	中学生の道徳
日本教科書(株)	233	日 科	道徳 中学校

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
道徳	2	東書	新編 新しい道徳

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○必修を35教材、付録を4教材設定し、学年の発達段階に応じて柔軟にカリキュラムが組める配列・分量になっている。
	2 内容に関する配慮事項	○教科書冒頭に「1年間で学ぶこと」「道徳科とは」および「教科書の使い方」が掲載されており、オリエンテーションができる内容となっている。 ○教材は、「読み物教材」と「考えよう」「見つめよう」「ぐっと深める」、最後に学習した内容を広げるための「プラス」のコラムが掲載され、ねらいに迫る構成となっている。 ○各教材に「つぶやき」のメモ欄が設けられ、生徒が自由に考えを書き込めるように工夫されており、話し合いや振り返りにも活用できる。 ○ユニット「いじめのない世界へ」、「いのちを考える」を全学年に設け、様々なテーマによる3本の教材を連続して扱い、じっくりと考えを深めることができる構成になるよう配慮されている。 ○小学校道徳科で取り扱われる教材を付録として全学年に取り入れ、過去の学びを振り返ることができる工夫がされている。また、学年間連携教材として登場人物が3年間で成長するストーリーも取り入れられている。 ○巻末の「心情円」を活用することで、自他の心情を視覚的に表現することができる工夫がされている。
	3 分量	○1教材当たりの分量を少なめにすることで、考え、議論する時間を確保できるように工夫されている。
	4 使用上の便宜	○QRコードが全教材にあり、その内容が一目でわかるマークが掲載され、Webコンテンツを利用して、朗読音声や関連動画、ワークシート等が活用できる。 【1年：朗読音声39 ワークシート43 関連資料17 動画8 デジタル心情円7】 【2年：朗読音声39 ワークシート42 関連資料13 動画7 デジタル心情円10】 【3年：朗読音声40 ワークシート41 関連資料12 動画1 デジタル心情円8】 ○教材ごとに用意されている「つぶやき」スペースや巻末の「自分の学びをふり返ろう」で学期末ごとに記述した内容を評価として活用できる。
	5 印刷・製本等	○サイズはAB判であり、印刷は鮮明で、カラーユニバーサルデザインへの配慮がある。
教科ごとの選定の観点		○多様な読み物教材、教材1冊の設定により、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 各教科等で行う道徳教育を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協働的に議論したりできる。 5 道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
道徳	1 7	教出	中学道徳 とびだそう未来へ

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○教科書教材1冊から成り、30本の教材に加え、「補充教材」を5本掲載し、郷土資料や自作教材等と差し替え、学校や地域に合ったカリキュラムをつくることで指導内容をより深めることができる構成となっている。
	2 内容に関する配慮事項	○全学年に「いじめ等の人権課題」「持続可能な社会」「生命の尊さ」をテーマに複数の教材とコラムでユニットが構成され、発達段階に応じて学習を深めることができる工夫がされている。 ○教材の冒頭には「導入」の文章を設け、学習のねらいを明確にして教材内容に入ることができるように工夫されている。 ○教材の末尾には「学びの道しるべ」を設け、教材理解だけでなく、物事を多面的・多角的に考えたりする際の助けとなる発問を示している。 ○直前の教材に関連した活動ページ「やってみよう」が各学年に設けられ、体験的な学習を通して学びを深めることができるよう工夫されている。 ○学校種間連携の視点から小学校道徳科で取り扱われる教材、学年間の系統性から学年に応じた主題設定の工夫を通して、より学びを深めるための工夫がされている。 ○教材によっては書き込める欄が設けられ、気づきや学びが見やすい工夫がされている。
	3 分量	○教材は「本教材」と「補助教材」で構成され、指導内容の重点化が図られている。
	4 使用上の便宜	○QRコードから全教材の教材解説を見ることができ、導入時に活用できる。 また、QRコードから補足教材を活用できる教材がある。 【1年：教材解説35 補足教材13】 【2年：教材解説35 補足教材17】 【3年：教材解説35 補足教材13】 ○巻末の「道徳科の学びを振り返ろう」では、学期・学年末の学びの振り返りを通して生徒の評価に活用できる。
	5 印刷・製本等	○サイズはB5変型判であり、印刷は鮮明である。 ○色覚等の特性をふまえた判別しやすい配色や表現方法を心がけている。文章の改行位置を工夫することで文章構成をつかみやすくし、教材の内容理解しやすくなるように工夫されている。
教科ごとの選定の観点		○多様な読み物教材、「学びの道しるべ」の設定により、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 各教科等で行う道徳教育を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協働的に議論したりできる。 5 道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
道徳	3 8	光村	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○教科書教材1冊から成る。教材は、1、2学年は35、3学年は34あり、全学年に人権教育の視点に立ったユニット「共に生きるために大切なこととは？」が設けられ、人権に対する意識を高め、差別を許さない心を育み、考えを深められる工夫がなされた構成になっている。
	2 内容に関する配慮事項	○全学年巻頭「道徳の学習を始めよう」では、「道徳科で何をどのように学ぶのか」が説明されており、オリエンテーションができる教材となっている。 ○教材は、魅力的な読み物資料を含めて内容項目ごとにまとめている。 ○教材は「読み物資料」と「てびき」で構成されている。「てびき」で①「考えよう」2問で構成された発問、②見方を変えて、③つなげようの要素からねらいに迫る構成により、1時間の学習の道筋が示されている。 ○全学年に「生命の尊さ」をテーマとした教材が3つずつ位置づけられ、生命の尊さを連続性、有限性、偶然性を始めとした様々な側面から考えることができる工夫がされている。その他、「いじめ問題」「情報モラル」等、発達段階に配慮した内容を複数時間で取り組める内容構成である。 ○毎時間、生徒が自己評価の記録を残す「まなびの記録」が巻末の折込に位置付けられている。 ○全学年の巻末付録に、「日本各地の伝統文化」や「地域の特色を生かした取り組み」、「先人の偉業」などが紹介されている。
	3 分量	○教材は「本教材」「考えよう」「見方を変えて」「つなげよう」で構成され、指導内容の重点化が図られている。
	4 使用上の便宜	○文字の大きさは、発達段階、教材の内容によって配慮されており、本文にはUDフォントを用いている。 ○QRコードからWebコンテンツを利用し、動画や資料、朗読などを活用できるようになっている。1年は朗読17本、動画5本、資料11本、2年は朗読8本、動画8本、資料6本、3年は朗読12本、動画7本、資料7本を活用することができる。 ○巻末折り込みの振り返りシート「まなびの記録」を活用して毎時間、シーズンごとの振り返り、1年間の振り返りを通して生徒の評価ができる。
	5 印刷・製本等	○サイズはB5変型判であり、印刷は鮮明である。 ○ユニバーサルデザインの視点から、写真や図、イラストや漫画が挿入されている。
教科ごとの選定の観点		○多様な読み物教材、「道徳の学習を始めよう」、「てびき」の設定により、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 各教科等で行う道徳教育を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協働的に議論したりできる。 5 道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
道徳	1 1 6	日文	中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○教科書教材1冊、道徳ノート1冊から成る。教材は35あり、発達段階に即した系統的・発展的な学習内容、目標達成に結びつく内容となっている。
	2 内容に関する配慮事項	○教科書冒頭に「道徳科での学びを始めよう！」および「ミニ教材で考えてみよう」が掲載されており、オリエンテーションができる内容となっている。 ○「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」ためのユニットを各学年複数配置し、多面的・多角的に考え、知識を深めながらスキルを身につける構成が工夫されている。 ○教材は、「読み物教材」と「考えてみよう・自分に+1」で構成しており、ねらいに迫る構成となっている。 ○別冊で「道徳ノート」があり、「考えてみよう・自分に+1」と連動して記入することができる。さらに1教材ごとに「自分への振り返り」がある。 ○学習した内容を広げる「視野を広げて」、学習した内容を理解する助けになるコラム「学びを深めよう」、作者からの思いが書かれた「あすへのメッセージ」があり、視野を広げる工夫がされている。
	3 分量	○教材は「本教材」「あすへのメッセージ」「視野を広げて」「学びを深めよう」で構成され、指導内容の重点化が図られている。
	4 使用上の便宜	○カラーユニバーサルデザインへの配慮がある。 ○読み取りやすさに配慮したUDフォントを使用している。 ○道徳ノートは、友だちの意見や話し合いをメモする欄、毎時間の自分への振り返り、学期ごとの振り返りを活用して、評価資料として活用できる。 ○すべての教材と補助教材で Web コンテンツを利用することができるように QR コードが添付されており、動画、朗読音声、関連資料、道具箱（心情メーター、シンキングツールなど）を活用できるようにしている。 【1年:動画11朗読音声35関連資料・画像12道具箱42ワークシート36外部リンク15】 【2年:動画7朗読音声36関連資料・画像16道具箱44ワークシート37外部リンク10】 【3年:動画9朗読音声37関連資料・画像22道具箱43ワークシート36外部リンク10】
	5 印刷・製本等	○サイズはB5変型判であり、印刷は鮮明である。 ○ユニバーサルデザインの視点から、写真や図、イラストや漫画が挿入されている。
教科ごとの選定の観点		○多様な読み物教材、教材1冊、道徳ノート1冊の設定により、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 各教科等で行う道徳教育を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協働的に議論したりできる。 5 道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
道徳	2 2 4	学研	新版 中学生の道徳 明日への扉

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○教科書数材1冊から成る。教材は35あり、発達の段階に応じた学習内容、目標達成に結びつく内容となっている。
	2 内容に関する配慮事項	○教科書冒頭で動機付け、「道徳科で学ぶこと・考えること」が掲載されており、オリエンテーションができる内容となっている。 ○教材は、「読み物資料」と2種類の特設ページ「深めよう」「クローズアップ」で構成されており、「クローズアップ」では、重点テーマである「生命尊重」「いじめ防止」につながる教材を取り入れている。 ○生徒に身近な人物や実話、各地域に関連した内容を扱っているため、生徒の興味や関心を喚起しやすくなっている。 ○1つのテーマに関連する複数の教材を連続して学びを深めるユニット数材が各学年とも3教材「SDGs 持続可能な世界のために」「多様性 色とりどりに輝く」「キャリア 未来に向かって」が設けられ、多面的・多角的な授業展開ができるように工夫されている。 ○教材によっては「メモ」や「深めよう」など書き込める欄が設けられている。
	3 分量	○教材「本教材」と「深めよう」「クローズアップ」で構成されており、指導内容の重点化が図られており、適切である。
	4 使用上の便宜	○「深めよう」「クローズアップ」、切り取り可能な「学びの記録」を活用することで、学期ごとの学びの振り返りとともに評価の参考にできる。 ○QRコードから学習を進める上での情報を活用できる教材もある。 【1年：動画4 写真3 思考ツール4 資料・外部リンク3】 【2年：動画2 写真2 思考ツール2 資料・外部リンク6】 【3年：動画3 写真5 思考ツール2 資料・外部リンク2】
	5 印刷・製本等	○サイズはAB判であり、印刷は鮮明である。 ○UDフォントを使用し、カラーUDに配慮して作成され、生徒の理解を助け、楽しみを持てる写真や挿絵を掲載している。
教科ごとの選定の観点		○多様な読み物教材、冒頭の「道徳科で学ぶこと・考えること」などの設定により、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 各教科等で行う道徳教育を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つめたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協働的に議論したりできる。 5 道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
道徳	2 3 2	あか図	中学生の道徳

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○教科書数材1冊から成る。教材は35あり、発達の段階に応じた学習内容、目標達成に結びつく内容となっている。
	2 内容に関する配慮事項	○各学年とも教科書冒頭で動機付け、「道徳科の時間は『自分を見つめ、考え、生きる』時間」が掲載されるとともに、一つ目の教材として「道徳 はじまりの時間」が掲載されており、オリエンテーションができる内容となっている。 ○教材は、「読み物資料」と2種類の特設ページ「Thinking」「マイプラス」で構成されており、ねらいに迫る構成となっている。 ○生徒に身近な人物や実話、各地域に関連した内容を扱っているため、生徒の興味や関心を喚起しやすくなっている。 ○「いじめ」を考える教材、「情報モラル」に関する教材、「キャリア」教育に関する教材、「共に生きる社会」を取り上げた教材など、1つのテーマに関連する複数の教材を連続して学びを深める数材が各学年ともに設けられ、多面的・多角的な授業展開ができるように工夫されている。
	3 分量	○教材は「本教材」と2種類の特設ページ「Thinking」「マイプラス」で構成されており、指導内容の重点化が図られ、適切である。
	4 使用上の便宜	○写真や図、表、挿絵がわかりやすく配置され、生徒が主体的に議論できるように工夫されている。 ○二次元コードから学習の導入や終末、また資料として活用できる動画を視聴することができる教材もある。 【1年：導入動画3 終末動画3 資料動画1 Web リンク4】 【2年：導入動画3 終末動画5 資料動画3 Web リンク4】 【3年：導入動画7 終末動画7 資料動画10 Web リンク6】
	5 印刷・製本等	○サイズはB判であり、UDの観点に立ち、色使いやレイアウトなどにも配慮して作成されており、印刷は鮮明である。
教科ごとの選定の観点		○多様な読み物教材、冒頭の「道徳科の時間は『自分で見つめ、考え、生きる』時間」や「道徳 はじまりの時間」などの設定により、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 各教科等で行う道徳教育を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協働的に議論したりできる。 5 道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
道徳	2 3 3	日科	道徳 中学校 1 生き方から学ぶ 道徳 中学校 2 生き方を見つめる 道徳 中学校 3 生き方を創造する

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○教科書数材 1 冊から成る。教材は 3 4 あり、発達の段階に応じた学習内容、目標達成に結びつく内容となっている。
	2 内容に関する配慮事項	○各学年とも教科書冒頭で動機付け、「クラスのみならず『道徳授業』を創り出そう」が掲載され、オリエンテーションができる内容となっている。 ○教材は漫画教材や 4 コマ漫画も配置され、生徒が内容を理解しやすい工夫がされているとともに、ねらいに迫る読み物資料が内容項目順に配置されている。 ○各教材とも、「中心発問」と「ねらいを深める発問」が設定され、生徒の思考を揺さぶる問いを通して、ねらいの達成に向けた工夫がされている。 ○教材を 8 つのテーマ「いじめ・人権」「生命・健康・福祉」「環境」「キャリア形成」「情報」「国際」「先人の業績・伝統文化」「社会を生きる」に分類し、さまざまなテーマから考えを深め、ねらいに迫る工夫がされている。
	3 分量	○教材は「導入」「本教材」「付録」で構成され、指導内容の重点化が図られており、適切である。
	4 使用上の便宜	○写真や図、表、挿絵がわかりやすく配置され、生徒が主体的に議論できるように工夫されている。 ○各教材とも、メモ欄が設けられている。 ○QR コードから学習を進めるうえでの情報を活用できる教材もある。 【1 年：導入動画 1 画像：5 音声・外部リンク 1 2】 【2 年：導入動画 2 画像：3 音声・外部リンク 1 4】 【3 年：導入動画 1 画像：3 音声・外部リンク 8】 ○巻末に「ウェルビーイングカード」がつけられており、話し合い活動に活用できるよう工夫されている。
	5 印刷・製本等	○サイズは AB 判であり、UD の観点に立ち、色使いやレイアウトなどに配慮して作成され、印刷は鮮明である。
教科ごとの選定の観点		○多様な読み物教材、冒頭の「道徳科の時間は『自分で見つめ、考え、生きる』時間」や「道徳 はじまりの時間」などの設定により、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 各教科等で行う道徳教育を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協働的に議論したりできる。 5 道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方でできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。